



Chitose Rotary Club

佐々木会長テーマ
“心ひとつに”

会長 佐々木 金治郎 副会長 大西 信也 幹事 佐藤 晴一
会長エレクト 今村 静男 会計 酒井 宏
第2510地区ガバナー 佐々木 正丞 第7グループ・ガバナー補佐 古川 大之

～ 11月はロータリー財団月間 ～

本日の例会 (11月25日 第22回) クラブフォーラム

担当：クラブ奉仕委員会
～ANAクラウンプラザホテル千歳～

2010年～2011年度 第21回(通算2140回)例会報告

日時：2010年11月18日18：30～19：30
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：夜間通常例会
担当：会員増強委員会
司会：SAA・プログラム委員長 村田 研一

ロータリークラブの例会に参加しました。ゴルフはどうだったのかと聞いたら、勝ったとのことで、意気揚々と北海道に帰れるということだったのですが、次の日はリベンジされたということでした。神戸南ロータリークラブさんとは、本当に心温まる交流をさせていただきました。我々観光組には、和田会長様が直々に神戸市内を案内してくださいました。面白いところでは、水陸両用自動車というものに初めて乗せていただきました。和田会長様も初めてとのことでした。

15日の日は私はゴルフをしなかったもので、朝は一人で30階のラウンジで朝食をとりながら、三宮の方を眺めていました。今から15年前にあのようひどい状況になった姿から、見違えるような立派な街になっていて、素晴らしい復興を遂げていました。そして思ったのですが、今我々日本人はいろいろな中で、経済的にも政治的にも委縮していますが、15、6年でこれだけの復興をした神戸の姿を見た時に、まだまだ我々はやればできるんだ、相当な力を持っているんだ、何も委縮する必要はないんだ、という心強いものを思い起こさせてくれました。素晴らしい復興の形を見た時、我々もできるのだということを実感しました。我々は朝10時半の飛行機で帰ってきましたが、ゴルフ組の皆さん、そして観光組の皆さんはそれぞれのスケジュールをこなしまして、15名無事に千歳の地に帰ってきました。

今日は、会員増強委員会担当の例会です。この後、食事のときにはちょっとしたアルコールも出て、先日の丸駒例会で宿泊した皆さんで開催した炉辺談話の内容などを佐々木委員長がまとめたものの発表もあるとのことですので、よろしく願いいたします。

四つのテスト



SAA・プログラム委員長
中村 清太郎

会長挨拶

会長 佐々木 金治郎



神戸ロータリークラブを訪問して16日に帰ってきました。北海道はものすごく寒くなってきていて、風邪を引いて神戸におじゃましました。神戸に風邪をお土産として置いてこようと思ったのですが、余計引いてしまい、今日は鼻声になっていて大変申し訳ございません。

神戸南ロータリーへの訪問ですが、私たち15名が午後1時15分の全日空機で千歳から神戸空港へ行ったのですが、和田会長様はじめ、皆さん方が空港へ迎えに来ていただきまして、大変な歓迎を受けました。15日は、ゴルフ組は朝5時半、まだ真っ暗のうちから意気揚々とホテルを出てプレーをされたということです。夜には私たち観光組6名と合流して、神戸南

幹事報告

幹事 佐藤 晴一



佐々木会長からも神戸南ロータリークラブ訪問についてのお話がありましたが、神戸南ロータリークラブのメンバーの方には到着から出発まで大変お世話になったことを皆さまに改めてご報告いたします。

本日の例会ですが、今日はボージョレヌーボーの解禁日ということで、佐々木会長からボージョレヌーボーを頂いておりますので、後ほど味わっていただきたいと思っております。また、本年度のクリスマス例会ですが、理事会において親睦委員会にその内容について任せるということになっていたのですが、下山親睦委員長より本年度はお子さん、お孫さんを含めた形でのクリスマス例会にしたいという意向がありました。今年のクリスマス例会は、小さいお子さんも参加されて、賑やかなものになると思っております。詳しいことにつきましては、案内が出来次第、皆さまにご報告したいと思います。また本日は、地区大会での永年出席100%会員表彰の記念品が届いておりますので、この場でお渡ししたいと思います。

永年出席100%会員の表彰

永年出席100% 40年

齊藤 公彦 会員

永年出席100% 30年

佐藤 秀雄 会員

村松 克重 会員



五十嵐 宏 会員



永年出席100% 25年

平間 和弘 会員



中村 清太郎 会員



永年出席100% 10年

本宮 輝久 会員

丸駒温泉での交友会の報告

会員増強委員長 佐々木 昭



先日は2回目の交友会だったのですが、総勢14名の宿泊者が参加いたしました。会員増強のための交友会ということではなかったのですが、話のきっかけをということで、8月28日に実施したクラブフォーラムの際に皆さんから頂いたご意見を中心に、前段に多少長く話をさせていただきました。

さて、交友会の内容ですが、8月28日のフォーラムでグループを3つに分けたのですが、その時の一番若手のグループである5年未満の会員の意見を重視していろいろなご意見をいただくことになりました。1人1人お話をいただいたのですが、皆さんは非常に協力的で、今後我々が取り組む上で参考になるご意見が何点もありました。若手から意見を頂く中で、会員増強だけではなく、これからの千歳ロータリークラブの進め方にも非常に参考になる意見があったと感じましたので、後ほど出来上がるであろう議事を皆さんもご一読いただいて、今後の指針にしていただければ非常にありがたいと思っております。

いつも我々も気にかけていることだったのですが、活動的に働かしてほしいという意見がたくさんありました。委員会でも、いろいろな事業を進めていますが、古いことを継続するというのも大事ですが、新しいことに挑戦してみたいというご意見もたくさん出ておりました。1つ参考になればと思います。また、会員増強について数ではなくて質だという意見もありますが、数か、質かという論議はこれからもどんどんしていくべきではないかと思っておりますので、これからも取り上げていきたいと思っております。交友会は延々と続きまして、最後の方には私も何をしゃべっていたのか記憶にないものですから、途中で寝てしまったようです。一番最後の方は、酒井さんがまとめてくれたものによりますと、「最後には記録できない発言と激論が

随分続いたようなので、記録は省略する」となっていますので、この後の方が本当は楽しかったのではないかと思います。私は12時頃に寝ていますが、2時過ぎまで語り合っていたということです。しばらくぶりに深くロータリーのことを語れたのではないかと思います。今後、今回参加して頂いた方やまたそのことに共感のある方の中から何人かピックアップさせていただいて、理事会のご承認をいただいた上で、会員増強のグループを会長の下に出来たらいいなという願いをつけさせていただいて、報告に代えさせていただきたいと思います。今回の交友会の意義につきまして、なかなか言葉では表せませんので、後ほど出るであろう議事の方を是非熟読し、今後の参考にさせていただきたいと思います。

乾杯の挨拶

加藤 武仁 会員



乾杯をさせていただく前に、一言、言い訳をさせていただきます。本日の千歳民報に、私の本のことについて載りました。実は数年前から子ども3人と、孫、甥っ子、姪っ子に、自分の戦前、戦中、戦後の苦しい生活をして、4回水面下に落ち込んで、それでもまた這い上がってきて今日があるんだということを教えるために20冊実費で発行したのです。そうしたら、それを書いた堀内という人から、「加藤さん、2000冊許可してくれないか」という話がありました。私は、「嘘、偽りを言っているわけではなく、実際の自分の体験したことですから、構いません。だけど2000冊も出して消化できるのですか」ときいたところ、「大丈夫。これは、取りあえず2000冊で、後からまた追加があるんじゃないか」ということをおっしゃってました。それで、いいですよということで、出してもらったものが先日出来てきて、その人と2人で民報に行ってお願いをして、今日新聞に出たということになった訳です。そのようなことで、実際は穴があったら入りたい思いであります。そういう気持ちで作ったものです。私は、その方から1300円で100冊仕入れてあります。ですから、もし読んでみようという方がいらっしゃいましたら、声を掛けていただければ、持ってまいります。

会員増強について

佐藤 秀雄 会員



やはり、会員増強はクラブにとってどうしても必要なことであろうと私は思っています。ロータリーにおける会員増強は、人間でいえば血液のようなものと、昔から先輩たちが言われていた言葉ですが、私もそのように思っている1人です。先ほど、佐々木会員増強委員長から、やはりロータリーは質でないとだめだという意見がありました。ただ、質と

いう基準はどう考えるか。大学を出た人でないとロータリアンになれないのか。ロータリアンの質という基準は非常に分かりづらいと思うのです。私は、一般社会の中で善良な市民として企業を営んでいる人たち、そのような人たちに是非ロータリーに入ってもらいたいと考えています。こういうフォーラムの中では、質が大事だという意見がたびたび出てくるのですが、それでは、どのように基準を定めるのか。こういうことを、ある程度皆さんで話し合い、新しい会員、若い会員も含めてみんなで頑張らなくてはならないのではないかと私は考えます。

村松 克重 会員



ロータリーは基本的に1業種1人ということになっておりました。このように1業種1人ということになると、ものすごく範囲が狭くなっていくわけです。そういうことで、一時、建築業の中から1業種1人ということであれば会員がすごく狭まるということで、大工さん、総合建築、などと試行錯誤して分類し、たくさんの方に入会してもらったということでした。皆さんのそばには、まだまだたくさんの方がおられると思います。最近、千歳クラブが提唱した千歳セントラルクラブに青年会議所OBがたくさん入っています。たくさんの人材がこの千歳にはいますので、何とか皆さんの力で集めていただきたいと考えています。

岩崎 暉久 会員



大事なことは、入会した会員がロータリークラブの本質を理解することだと思います。ロータリークラブには、綱領というかけがえのない財産があります。この綱領をロータリアンが分かち合うことがロータリーの理念であります。奉仕の成功の喜び、それに生ずる友情を分かち合うことが大事です。

会員増強の考え方としましては、推薦者、会員増強委員、ロータリー情報委員などがフォローする必要があります。歓迎会の開催もそうです。新入会員が入会して、例会に来た時には温かい声を掛けて歓迎するというのも必要です。聞いた話ですが、新会員が入会して2、3カ月経って会報委員として仕事をしていた時の話です。会員卓話をした方に、ある部分がよく分からないということで、その会員の所にお伺いして聞きに行ったそうです。そうしたら、会員卓話をした先輩が、「忙しいのによく来てくれたね」ということで歓迎してくれたそうです。訪ねて行った方は「大変お忙しいところ申し訳ありません」と訪ねていったのですが、先輩は「コーヒーでも飲んでいきなさい」と言って、温かく迎えてくれたという話を聞きました。このような細かい神経こそが、会員増強につながるのではないかと思います。



私どものような、オーナー社長さんでない出先の責任者のような立場でいますと、経費節減ということをよく本社に言われます。年会費を毎年、毎年、会社のお金で支払っているのですが、その度にどのように使っているのかということを経理から厳しく質問されて、脂汗を流しながら何とか続けているという状況です。また、その時の支店長さんや支社長さんの判断というのがかなり大きくて、経費節減に力を入れる出先の方だと、とたんにいなくなってしまう、ということが今日の会員数減少の1つの原因ではないかと思っています。企業としてはそれなりの方が出先のトップをされていると思いますので、そういった方々が入って良かったと思えるようにしていただければ、大変ありがたいと思います。

例えば、会員卓話ですとか、ロータリー情報などの時に、日の浅い出先の支社長さんや支店長さんなどにもっともっと登場していただいて、その方々がロータリーに入っているということを知ってもらい、また会員の皆さんもロータリーメンバーの中には大きな会社にいることを、いろいろな形でやり取りしていただければ、その方が本社を納得させ、説得する時の大きな材料になるのではないかと思います。加藤会員の本の中にも、「信用の積み重ねがあったので、大変困った時にも皆さんに手伝っていただいて、立ち直ることが出来た」というお話が書かれています。ロータリークラブもそういう風に、新しく入って来た方、よそから来た方に、温かく接してあげて、ここが千歳での大きな拠り所になっていけば、会員企業がもうやめやすということがない、持続するクラブになるのではないかと思います。



入会してくれた人へ協力するシステムが無いというのが、一番の問題なのではないのでしょうか。昔は、大先輩が飲みながら教えてくれたのですが、そういうのが無くなって来た気がします。

ここに集まっている方は、会社の経営者、トップの方々です。ロータリークラブに入る人は、そのトップでなくてはいけないというのが条件です。そういう経営者にとって最も大事なことは、当たり前のことですが、会社の理念です。これが無かったら、長い間会社がうまくいくことが無いのです。では、ロータリーの理念は何かと問われた時に、すぐ1、2分間で答えることが出来ない、そこに大きな問題があるのでないかと思えます。そういうように理念が無くなって来たのは、やはり世界のロータリーの方針がおかしくなって来たのが原因だと思います。

最後に、ロータリークラブは会員同士が知り合うという事が大前提ですが、新しく入ってきた会員について知らないことがいっぱいあります。例会の卓話以外

部の人を呼ぶということも良いですが、そんなに頻繁にやるべきではありません。もっともっと、お互いの職業を紹介し合って、知り合うべきです。ロータリーも最初のころは、お互いに職業を使い合ったことで助け合ったという経緯があったことは皆さんもご存じだと思います。そういうことは途中から駄目だと言われるようになりましたが、心の中では今でもそう思っているのではないのでしょうか。みんなが、お互いの事業を使いあうというのはやはり基本なのです。ということで、お互いの職業を分かりあうという例会を私は歓迎したいと思っています。

出席率

今回：65.5%（11月18日＝38/58、実数）
 確定：81.1%（11月4日＝47/58、うちメーキャップ0名）

ニコニコBOX

佐々木 金治郎 会長

11月14日から11月16日に神戸南ロータリークラブを15名で訪問し、和田会長を始めクラブの皆様より大歓迎を受け、心に残る訪問でした。

佐藤 晴一 幹事

神戸より無事帰ってきました。

加藤 武仁 会員

(1) 本日の民報に大きく写真入りで『波乱万丈の人生』の見出しで出ておりました。

(2) 妻が4ヶ月の入院から、11月4日に退院してまいりました。

大澤 雅松 会員

加藤大先輩の本の記事を書き、千歳民報に掲載させていただきました。

長澤 邦雄 会員

隣で医師会に出席しています。出席できず、ニコニコBOXに入れます。

村田 研一 会員

神戸訪問、楽しく行ってきました。

岩崎 暉久 会員

15日と16日神戸南RCの訪問、楽しい観光でした。

中山 和朗 会員

(1) 歩こう会、残念ながら歩きそこなってすみません！

(2) 妻の誕生日にお花をありがとうございます。

五十嵐 宏 会員、 村松 克重 会員、 平間 和弘 会員、 中村 清太郎 会員

永年100%出席の表彰を受けました。

本日のニコニコ集計 12名 19,000円